

事後評価シート

コード 8-5-2	事務事業名 放置自転車対策事業	所管部課 都市整備部交通計画課
--------------	--------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 公共の場所等における自転車等の放置を防止するとともに、交通の安全及び防災活動の確保ならびに自転車等駐車対策の推進を図り、もって市民の良好な生活環境の保持に資することを目的とする。	事業の区分 <input type="checkbox"/> 総合計画 <input type="checkbox"/> 行革項目 <input checked="" type="checkbox"/> その他の事務事業
	実施内容、実施方法 市内5駅周辺の放置自転車等の防止指導、放置されてしまった自転車等を通行が出来る様に整理を行い、更に放置自転車等に警告札の取付、更に放置されたままの自転車等の撤去・移送を実施している。最近では駅周辺以外の所からの放置自転車等撤去要請が多い時は日に4~5件あるが、このことにも対処している。	根拠法令等
	事業開始時期 合併以前から	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ( )

評価指標の設定	活動指標名 撤去台数	活動指標の考え方(定義) 1年間に撤去した台数
	成果指標名 1次 放置台数	成果指標の考え方(定義) 1次
	1次	1次
	2次 放置減少率	2次 ここ数年横ばいである

		単位	15年度	16年度	17年度	18年度
事務事業データ	事業費(A)	千円	96,670	92,983	94,214	93,908
	国庫支出金					
	都支出金					
	地方債					
	その他					
	一般財源		96,670	92,983	94,214	93,908
	所要人員(B)	人	3	3	3	3
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	24,819	24,984	24,555	24,555
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	121,489	117,967	118,769	118,463
	単位当たりコスト (E)=(D)/ (撤去台数)	千円	11	11	11	#DIV/0!
歳入	千円					
活動指標	目標値				10,000	10,000
	実績値	台	11,522	10,830	10,675	
活動指標	目標値					
	実績値					
1次成果指標	目標値				14,400	14,400
	実績値	台	14,400	14,400	14,400	
1次成果指標	目標値					
	実績値					
2次成果指標	目標値					
	実績値					

事業環境	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	人が歩けないような止め方をしている自転車を撤去してほしいとの意見がある。
	26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	26市で行っている放置自転車台数のとらえ方が、各市まちまちで比較できない。
	運営上の制約条件・外部要因等	

コード 8-5-2	事務事業名 放置自転車対策事業	所管部課 都市整備部交通計画課
--------------	--------------------	--------------------

【事業所管部評価】

検証項目	選択基準	ランク	選択理由、特記事項等
1 目的の適切さ・目標	目的の妥当性 4 上位施策と目的が合致しており、施策に対する貢献度は他の事業と同程度である	4	放置自転車も多く、その対策は、単年度ではなく、計画し実施する。
	目標の妥当性 3 市が独自に目標を定量的に設定している	3	
	緊急性 4 今後しばらくの間、少しずつでも継続して実施する必要がある	4	
2 市が必要とする必要性	法的義務性 3 法律での規定はないが条例で実施することが規定されている	3	指導・整理・撤去を実施することにより、市民の良好な生活環境を保持する。
	必要性 4 安全・安心・健康な市民生活の水準の維持に不可欠なサービスである	4	
	民間との役割分担 3 本市以外の都内で、民間団体が同種・類似サービスを提供している事例がある	3	
3 内容の適切さ	ニーズ 4 市民(市内)ニーズが明確に把握できており、サービスが不足している	4	市民の要望・苦情等明確に把握し、実施する。
	規模・方法の妥当性 3 事業規模や方法は、事業担当部門の独自の考えで適宜見直している	3	
	公平性 2 直接の対象は、特定属性の一部の市民または団体である	2	
4 実施手段の適切さ	有効性 4 現在、質・水準の改善に取り組んでおり、成果の向上が期待できる	4	市が主体となって、他(企業・団体・市民)の協力を得て実施していきたい。
	効率性 2 市直営の中で具体的な計画や目標等に基づきコスト低減に取り組んでいる	2	
	独自性 3 国や都に同種の目的を有する(類似・重複を含む)他の事務事業がある	3	
合計		39	

	評価結果	判断理由、説明等
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>現在のところ、指導・整理等の委託先のシルバー及び撤去等の委託先の会社もフル稼働で実務にあたっているが、放置自転車等の苦情も多く、今後人員増等考慮する必要がある。</p> <p>特に撤去については、実務に当たる車両及び人員の増強が、撤去・移送の委託料の増額を予算化する必要がある。</p>

18年度における改善点	当年度においては、特に放置された自転車により、人と緊急車等の通行の妨げになる箇所固定した人員を配置したことにより、放置が減少した。
-------------	---

二次評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>人の目による監視策は限定的になるため、放置予防策による注力が必要である。</p> <p>また、商店街への影響も大きいことから、産業振興課と連携を図り、ボランティアの養成も視野に入れて検討する必要がある。</p> <p>さらに鉄道会社と密接な連携を図り、全市的に放置自転車対策を図る必要がある。</p>
------	---	---

行革本部評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input checked="" type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>放置台数が横ばいにも関わらず、撤去台数は減少傾向にある。放置自転車対策は放置台数の減少により効果が認められるもので、事務事業データを見る限り事後処理的な対応の限界が推測される。</p> <p>委託を含めた人員増強化だけでなく、啓発活動など「放置させない」という視点に立った実施方法の見直しも必要である。</p>
--------	---	--